

# 留学生のための新潟県企業視察バスツアー開催報告

ERINA 経済交流部経済交流推進員  
蔡聖錫

ERINA は2019年12月に3回にわたり、新潟県の下越、中越、上越地方において、外国人留学生による県内企業の工場視察を実施した。当事業は公益財団法人中島記念国際交流財団の2019年度留学生地域交流事業に採択され、財団からの助成を受けて実施された。対象者は新潟県内の大学院・大学・専門学校に在学中の外国人留学生で、これらの留学生による県内企業の視察を通じて、日本企業に対する認識を深めることで、日本とつなぐ新潟県での就職に繋がることを目的とした。

ERINA としては留学生の工場視察は初めての試みであり、各関係機関の協力を得て、無事に終了することができた。

## 1. 経緯

ERINA では、これまで15年間で16回、新潟県内の大学院・大学・専門学校の留学生と県内企業との就職マッチング相談会「国際人材フェア・にいがた」を開催し、延べ1183人の留学生が参加し、82人の内定者を出してきた。

一方で、多くの留学生にとっては普段日本企業と接する機会がほとんどないため、彼等が日本企業への就職を考えた場合に、「新潟にはどのような企業があるのか」、「日本での仕事の内容がわからない」、「日本での就活の流れが分からない」などの問題を抱えている実態もある。こうした状況を踏まえ、留学生が新潟県の産業特性や県内企業の特徴ある技術や生産活動、サービス内容を知ることにより、仕事の内容を理解し、就職の流れを学び、就職の選択の幅を広げるため、留学生による県内企業視察ツアーを企画した。また、企業に対して近距離で交流する機会を提供することで、外国人留学生との接触を通じて、採用を検討するきっかけになることが期待された。

## 2. 準備作業(9月～11月)

### ①視察受け入れ可能な企業の選定(9月～10月)

毎年 ERINA が開催している就職マッチング相談会「国際人材フェア・にいがた」に参加したことがある企業のなかから、金属加工、食品加工など新潟県が得意としている分野で、上・中・下越において視察可能な企業を選定した。また、長岡市や上越市からも協力を得て、留学生の採用に関心がある企業を紹介してもらった。

### ②留学生の募集(11月)

選定企業との日程調整を基に留学生向けチラシを作成し、県内の大学院・大学・専門学校の留学生担当窓口、または就職担当窓口を通じて留学生の募集を行った。

## 3. 実施概要

工場視察の概要は以下の通りである。

### ①下越地域

- ・実施日:2019年12月6日(金)
- ・視察企業:一正蒲鉾株式会社(本社工場・新潟市、カマボコなど練製品製造)、佐藤食品工業株式会社(聖籠工場及び東港工場・聖籠町、パックご飯などの製造)
- ・参加人数:16名
- ・大学:新潟大学(14名)、事業創造大学院大学(2名)
- ・参加者の国籍:中国(9名)、台湾(1名)、韓国(1名)、ベトナム(1名)、ミャンマー(1名)、スリランカ(1名)、バングラデシュ(1名)、インドネシア(1名)
- ・当日のルート:(朝)新潟駅出発→(午前)一正蒲鉾株式会社視察→(午後)佐藤食品工業株式会社視察→(夕方)新潟駅到着、解散

写真1 一正蒲鉾株式会社での工場視察



(出所) ERINA 撮影

写真2 佐藤食品工業での工場視察



(出所) ERINA 撮影

### ②中越地域

- ・実施日:2019年12月10日(火)
- ・視察企業:マコー株式会社(本社・長岡市、防振ゴム表面処理装置などの製造)、日東工業株式会社(六日町工場・南魚沼市、テーピング機などの製造)
- ・参加人数:8名
- ・大学:新潟大学(7名)、長岡公務員・情報ビジネス専門学校(1名)
- ・参加者の国籍:中国(7名)、韓国(1名)
- ・当日のルート:(朝)新潟駅出発→(午前)長岡駅経由→(午前)マコー株式会社視察→(午後)日東工業株式会社視察→(夕方)長岡駅到着、解散→(夕方)新潟駅到着、解散

写真3 マコー株式会社での「ウェットブラスト」体験



(出所) ERINA 撮影

写真4 日東工業株式会社での会社説明



(出所) ERINA 撮影

### ③上越地域

- 実施日:2019年12月18日(水)
- 視察企業:シゲル工業株式会社(本社・上越市、ステンレス製流し台などの製造)、株式会社サイカワ(本社・柏崎市、伸線機などの製造)
- 参加人数:18名
- 大学:新潟大学(14名)、新潟産業大学(4名)
- 参加者の国籍:中国(16名)、モンゴル(1名)、タイ(1名)
- 当日のルート:(朝)新潟大学出発→(午前)新潟産業大学経由→(午前)シゲル工業株式会社視察→(午後)株式会社サイカワ視察→(午後)新潟産業大学到着、解散→(夕方)新潟駅大学到着、解散

写真5 シゲル工業株式会社での会社説明



(出所) ERINA 撮影

写真6 株式会社サイカワでの会社説明



(出所) ERINA 撮影

## 4. 実施の成果

留学生に対するアンケート結果<sup>1</sup>によれば、「本日の工場見学は如何でしたか?」という質問に対して、参加者全員が「満足」と答え、概ね好評であった。

「今まで日本企業の工場見学に参加したことがあるか?」という質問に対して、33名(76%)は「ない」と答え、「新潟にこのような企業(工場)があることを知っていたか?」という質問に対して、28名(66%)は「いいえ」と答えた。以前から留学生が日本企業との接点が少ないため、企業に対する理解が足りないのではと推測したが、視察ツアーとアンケートによりそれがある程度明白になった。

「今回の視察を通じて日本企業に対する理解が深まったか?」という質問に対して、37名(91%)は「はい」と答え、更に、「新潟の企業に対してもっと知りたいと思うか?」という質問に対して、41名(98%)が「はい」と答えるなど、肯定的な意見が多かった。

感想については、「今回の視察バスツアーはとても楽しかった。このようなイベントがもっとあってほしい」、「勉強になった」、「日本企業を知る良い機会であった」などの好評がある一方で、「製造業の他にも商社、流通、サービス業なども見学したい」、「文系の学生に合う職場を見学したい」などの要望も寄せられた。

企業に対するアンケート結果によれば、「工場見学が有意義と思うか?」という質問に対して、6社(100%)が「有意義であった」と答えた。その理由として、「外国人留学生のレベルの高さがわかった」、「異国の若い人材との交流は有意義で、発言も積極的で楽しかった」、「当社を知ってもらい、そして知人に伝えて交流の輪が広がることに意義がある」などが挙げられている。

また、「次回も工場見学の受け入れを希望するか?」という質問に対して、6社(100%)が「希望する」と答え、当事業は企業にとってもニーズがあると感じた。

改善点について、企業からは「留学生と受け入れ企業との間の思惑がうまくマッチングしないと単なる会社見学で終わってしまうので、お互いの希望が叶うような見学ツ

アーにしてほしい」という意見があった。

## 5. 今後の展望

今回の企業視察バスツアーでは留学生・企業双方全てが満足する結果になり、当事業に対してニーズがあることが分かったので、今後も継続的に実施する予定である。また、参加した留学生全員が日本企業に対する関心が高まってきており、今後の就職活動において自ら積極的に行動することが期待される。

一方で課題もあった。一つ目としては、前述の企業向けアンケートにあった双方の思惑が一致しない問題である。今回視察した企業は全部製造業で、その多くはエンジニアや機械設計などを担当する理系の人材を求めていることに対して、参加した留学生の全員は文系の学生で、ミスマッチが起きた。例えば、業務内容を紹介する際に技術系の専門用語が多くなると、文系の学生にとっては理解が困難になる。留学生の専門と、それに合う業種(もしくは職種)の企業と交流できるように企画することが必要である。

二つ目は、開催時期と留学生の集まりの問題である。今回は県内の大学院・大学・専門学校の担当窓口を通じて参加者の募集を行ったが、上記3の実施概要に記載の通り参加者があった学校に偏りが見られた。参加者が少ない、或いはなかった学校に理由を尋ねると、平日に開催する場合、授業と重なれば、授業を優先せざるを得ないとの回答であった。また、もし学校の休みを狙って休日開催にすると、今度は受入可能な企業を探すのが困難になる。改善策としては、事前に学校側と調整して、授業の一環として参加を促す、学校の夏休み時期に開催する、もしくは、企業側に休日にも受け入れるように働きかけるなどの方法が考えられるが、いずれにしても解決に工夫が必要な課題である。

今回の事業を通じて、貴重な経験を得ることができた。改善に向けて課題は多いが、継続して実施することでノウハウを積み重ね、留学生と企業の双方にとって有意義な事業となるように取り組みたい。

<sup>1</sup> 留学生アンケートの有効回答者数は下越、中越、上越を合わせて計42名。